



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

大会前なのに!!!



BOX前は部活の連絡を取り合う生徒でいっぱい。



5月20日のSHRで休校の連絡を受けた生徒たち。ここでは、一部の生徒コメントを紹介する。
「総体前なのに……」
「家にずっといたくないのに、困る」
「いきなりの休校にびっくりした。部活もないし、外出も



帰り際、友達とのしばらくの別れを惜しむ。

できないので、辛い。だから生活しないようにしようと思う。この休みを活用したい」
「近畿大会に向けての総体が近いのに……。部活ができないのは嫌や!!」
「休校はうれしいけど、その分夏休みが消えると思うと悲しい」

団の計画もできない

団編成が決まり、いよいよ団の活動に向けて計画を立てるはずだった団長もこの急な事態に悲鳴を上げている。5団の団長の寺田恭介君(315)は「体育祭の団のことは決め

なければならぬことが山ほどあって明日決める予定だったのにその予定も狂ってしまった。正直団長として何も決まっていないうこの状況はかなり焦っている。勉強よりも団の方が困っている」と話してくれた。

港も無い、滋賀県に！
ここ3日間ぐらいつつと

滋賀で?

SHRで担任の先生から向こう一週間は休校と聞き、早々に退散した。

午後の2時間で行われる新体力テストのために着替えようと武道場に向かった。もう着替えていい」という言葉を聞いた。「え?」一瞬、事態を飲み込めなかった。「県内で感染者?」

一瞬「え?」

つけていたマスクを、昼食後から付け忘れていることに気づいた。慌てて教室に駆け込んでマスクを口に押し付ける。感染者の存在を知らない男子がシャツもズボンも脱ぎだした中で。「とっとう来たー」。教室はざわめく。皆普段よりも興奮気味。私もなんだか落ち着かなくて友達と叫び合った。その後少し喉が枯れて、「これはやばい」と行動を自粛とりあえず両親に「午後から休校」とだけメール。それから南の方に帰る友達に予備のマスクをあげたりした。